

関西・阿南ふるさと会

ふるさとだより

Home Town Newsletter



阿南市イメージアップ
キャラクター

あななんです。



四国のはじっこから
世界中に光を届けるよ

四国でいちばん最初に太陽が昇る、四国最東端の”光のまち阿南”に
咲くひまわりから生まれた、花と光のたてがみを持った百獣の王ラ
イオンのような不思議な生物。豊かな自然の光と、人々が作り
出す新しい光のエネルギーをたっぷり浴びて、元気にの
びのび育っています。

阿南と関西の交流深める
広域連携産業振興シンポジウム・光流会

天羽祥瑞さん「阿南ふるさと大使」に

知っとこあなん～加茂谷編～

2014 阿南市10大ニュース

2015. 年刊 **vol. 2**



阿南市と関西の交流深める 平成26年 2月2日

平成26年2月2日（日）リーガロイヤルNCBにおいて、阿南市と関西・阿南ふるさと会主催の「広域連携産業振興シンポジウム」と「関西・阿南ふるさと会総会 光流会」が開催され、約150人が参加し交流を深めました。

広域連携産業振興シンポジウム



岩浅市長のあいさつ

基調講演をいただいた小久見先生

真剣に聴き入る参加者



プレゼンテーションのようす

午後1時から、「関西の阿南市ゆかりの企業」と「阿南市内の企業」との、地縁を活かしたビジネスマッチングをめざして「広域連携産業振興シンポジウム」が開催され、阿南市出身で京都大学名誉教授・特任教授の小久見善八氏の『蓄電池とそのエネルギーシステムにおける役割』と題した基調講演の後、阿南にゆかりのある関西の企業などによるプレゼンテーションがありました。

光流会 こうりゅうかい



総会であいさつをする岩浅会長

午後3時から、関西・阿南ふるさと会総会に引きつづき、阿南市ふるさと大使の笑福亭學光さんの司会で光流（こうりゅう）会が開催され、参加者のみなさんで交流の輪を広げました。会場では、関西の企業と地元阿南市の企業による展示、ちりめんやしいたけをはじめとするふるさと阿南市の特産品販売のブースも設けられ、多くの参加者でにぎわっていました。またアトラクションの、はなしか連による阿波踊りで会場は大いに盛り上がり、光流会は盛会のうちにお開きとなりました。



乾杯のご発声は東京・阿南ふるさと会の野々宮会長様



展示ブースをまわる参加者のみなさん

特産品販売ブースにもたくさんの方が

交流の輪が広がります

最後はみんなで阿波踊り

万歳三唱は荒谷阿南市議会議長様



日本舞踊家元 天羽祥瑞さん「阿南ふるさと大使」に 平成26年 2月17日

平成26年2月17日、阿南市の魅力为全国へ広く発信していただくため、山口町出身で日本舞踊家元の天羽祥瑞さん（新舞踊家元・桐 彩華 / 大阪府豊中市在住。関西・阿南ふるさと会会員）に「阿南ふるさと大使」が委嘱されました。

天羽さんは6歳で初代音羽流家元の音羽菊蔵に入門し、12歳で名取になられました。昭和62年には日本舞踊「天羽流」、新舞踊「桐流」を創設され、現在も国内外で幅広く活躍され、「関西・阿南ふるさと会」の設立総会では祝舞をご披露いただきました。

交付式で、岩浅市長から委嘱状と名刺を手渡された天羽さんは、「身に余る大役を仰せつかり、大変恐縮しています。舞踊を通して阿南市の魅力をしっかりPRできるように、全力を尽くしたい」と意気込みを語りました。

「阿南ふるさと大使」の委嘱は、プロサーファーの武知実波さん、落語家の笑福亭學光さん、脚本家の旺季志ずかさん、野球解説者の水野雄仁さん、俳人の大高 翔さんに次いで6人目です。





四国の右端には魅力がギュギュッと詰まってる

知っとこ
あなん



お松大権現

江戸時代、奉行に不当な裁きを受けて直訴し、悲運にも処刑されたお松さんの愛猫が妖怪変化となり、奉行らの家々をたたり、仇を討った伝説が残され、日本三大怪猫伝の一つとして知られています。勝負や願ひ事の神様で、「猫神さん」の愛称で親しまれ、受験シーズンには合格祈願の参拝者で賑わいます。

加茂谷鯉祭り

約2000匹の鯉のぼりが清流、那賀川の上空にたなびく姿は圧巻。ゴールデンウィーク期間の恒例イベントで、かんどり舟での趣きある川下りやミニSL乗車、宝探しや餅投げ、地元ボランティアによる模擬店などでおおいに賑わいます。

太龍寺(四国霊場第21番札所)

「西の高野」とも称され、周囲には樹齢数百年の老杉が生い茂っています。標高602m、山頂近くにある古刹です。境内近くのお舎心嶽という岩上で、弘法大師が19歳の頃、修行されたと伝えられています。延暦12年(793年)創建で虚空蔵菩薩が本尊です。

こお 午尾の滝

水の流れる様が午(うま)の尾に似ていることから名付けられた滝で、落差約30m。秋は紅葉、冬は冠雪と、四季折々に表情を変えます。

かも道

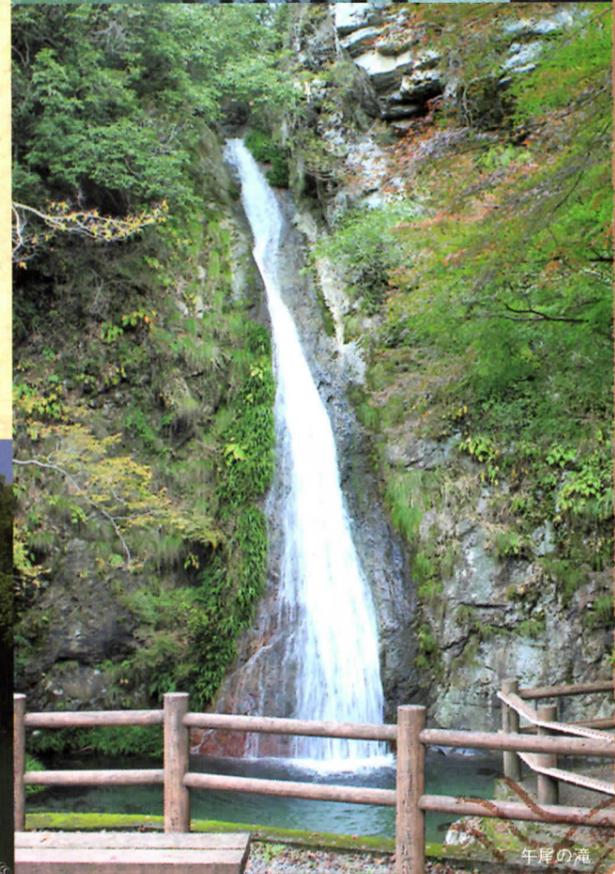
太龍寺山のふもと、一宿寺から太龍寺に至る約4.4mの古道です。歴史を感じさせる丁石や手つかずの自然が残り、四国最古の遍路道として注目を集めています。

アナムムシオイガイ

加茂谷で発見された新種のカタツムリ。殻は、高さ約2ミリ、幅約3.5ミリと驚くほど小さな巻貝です。全世界で阿南市の石灰岩地帯の一部でしか生息が確認されていません。

加茂谷元気な町づくり会

平成24年、地元有志らによって立ち上げられた地域活性化グループ。人口減少が続く中、加茂谷地区に元気を与え、活気のあるまちづくりと若者の定住を図る活動しています。田舎暮らし情報の発信や、加茂谷体験ツアーを実施中です。



2014 阿南市10大ニュース News

豪雪、台風、土砂災害、噴火と、今年は各地で自然災害が相次ぎました。阿南市でも台風による未曾有の水害が発生し、家屋や農業用施設等が甚大な被害を受けました。そんな折、市内外を問わず、多くの方から支援の手を差し伸べていただきましたことに、あらためて感謝を申し上げたいと思います。

去る11月11日、「2014年阿南市10大ニュース」の選考会が行われ、次の10項目を選定しました。皆さまには、どのような年だったでしょうか。

「禍いを転じて福となす」という言葉がありますが、新しく迎えた年が輝かしい年でありますよう、心からご祈念を申し上げます。

1 津波防災マップ「南海トラフ巨大地震・津波にそなえて」市内全戸に配布



南海トラフ巨大地震に備え、最新の被害想定などを盛り込んだ津波防災マップを作成し、全戸に配布しました。マップは、津波災害発生メカニズム等を紹介した冊子と、津波被害が想定される10地区の地図(5枚)で編集しました。

2 新ごみ処理施設「エコパーク阿南」完成



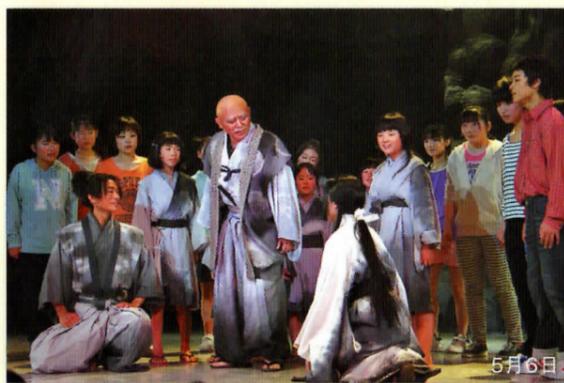
橘町小勝に建設を進めてきた新ごみ処理施設「エコパーク阿南」が完成し、4月1日から本格運用(稼働)しました。建設費は93億300万円で、20年間の運転維持管理は阿南ハイトラスト株式会社と118億6,500万円で契約しています。

3 「野球のまち阿南」応援チアガール「ABO60」デビュー



阿南の「A」、ベースボールの「B」、おぼちゃんの「O」、60歳以上の「60」を組み合わせたチアガール「ABO60」が今年1月に結成され、4月19日の第7回西日本生涯選抜野球大会で華やかにデビューしました。

4 市制施行55周年記念企画「市民劇団ふるさと創作ミュージカル「新開桜」上演



牛岐城趾に400年以上咲き続ける「新開桜」をテーマにした市民劇団ふるさと創作ミュージカル「新開桜」が夢ホールで上演されました。公募による38人の団員を含む総勢130人が力を合わせ、感動の舞台を作り上げました。

5 県内初、本人通知制度スタート



事前登録された対象者に対し、戸籍や住民票の写し等を第三者に交付した場合において、その事実を通知する「事前登録型本人通知制度」を県内で初めて導入しました。戸籍や住民票の写し等の不正請求などの防止を推進します。

6 図書貸出冊数、6年連続四国一



四国公共図書館連絡協議会による「四国の公共図書館統計編」が公表され、平成25年度における阿南市民1人あたりの図書貸出冊数は8.48冊で、四国38市の中でもっとも多いことがわかりました。これで6年連続1位となりました。

7 台風11号・12号襲来。甚大な被害発生



8月1日～3日にかけて襲来した台風12号で、床上浸水90棟68世帯、床下浸水496棟307世帯が、8月8日～11日の台風11号では、半壊が3棟2世帯、床上浸水162棟96世帯、床下浸水317棟121世帯の甚大な被害が発生しました。

8 武蔵野大学生100人加茂谷で災害復旧・農業ボランティア活動



武蔵野大学生100人(8班)が加茂谷地域に滞在し、台風11号の災害復旧活動や農業体験ボランティア活動を実践しました。地域を挙げての取組は、若者の定住や中山間地域活性化の可能性を探る意味で大きな反響を呼びました。

9 生誕100年、作家・北條民雄を顕彰



下大野町出身の作家・北條民雄(1914.9.22～1937.12.5)の生誕100年を記念し、その功績を顕彰する講演会を開催しました。阿南市文化協会からは、北條民雄を含む27人の偉人を紹介した『阿南市の先覚者たち』が刊行されました。

10 和歌山県御坊市とパートナーシティ協定



紀伊水道を挟んで対岸に位置する和歌山県御坊市と県境・海峡を越えてパートナーになり、互いの共通点や特性を最大限に生かした広域的かつ戦略的な観光、地域振興、防災対策に取り組むパートナーシティ協定を締結しました。

おしゃべりあななん



ふるさと阿南の今昔

今号の表紙は、現庁舎と建設中の新庁舎（高層部）が寄り添い、阿南市の歴史を引き継ぎするかのよう映っています。現庁舎は半世紀にわたるその役目を終え、平成28年度中には低層部も含めた新庁舎が完成する予定です。

新しい庁舎のもと、ふるさと阿南がどのような歴史を刻んでいくか、大いに期待したいものです。



現庁舎（S40年代前半）



新庁舎外觀（南側）



新庁舎（3階中央部）



新庁舎エントランスロビー



新庁舎夜景

check!!

阿南市のリアルタイムの話題は
阿南市のホームページから
「編集長の小窓」でチェック!



<http://www.city.anan.tokushima.jp>

information

ふるさと阿南応援事業（ふるさと納税）

自分が生まれ育った「ふるさと」に貢献したい、取組に共感できる地域を応援したい、という気持ちを形にする仕組みとして、県や市に対して寄附を行った場合、税額控除が受けられる「ふるさと納税制度」があり、寄附金は、市の6つのテーマの各事業に活用されます。ご支援いただける場合は下記の担当までお問い合わせください。

寄附の申し出に関すること 阿南市市民部ふるさと振興課
☎0884-22-7404

寄附金控除に関すること 阿南市総務部税務課
☎0884-22-1114

「ふるさと会」について

関西・阿南ふるさと会は、会員相互の親睦を図るとともに、ふるさとへの思いを深め、ふるさと阿南市を応援することを目的に、関西に在住する阿南市出身の方や、学校・企業の勤務等で阿南にゆかりのある方々で構成されています。

また随時、会員を募集しておりますので、入会を希望される方やご紹介を頂ける場合は事務局までご連絡をお願いいたします。

